



社会への奉仕の心

岡部中学校 2年

須永 隼世

僕の尊敬する人物は日本資本主義の父といわれる深谷の郷土の偉人、澁澤栄一です。僕が特に尊敬しているのは彼が私利を追わず公益を図るという考えをもち、社会への奉仕の心を生涯にわたって、貫き通したことです。彼は第一国立銀行や東京証券取引所など約五百もの多種多様な企業の設立・経営に関わりました。それでも、自分の利益を求めず、日本の社会のために様々な事業を興し、成功させ、懸命に貢献しました。そのような彼の生き様に僕はとても心を打たれました。それから僕は経済に興味を持つようになりました。そして、僕も将来、澁澤栄一のように日本の経済を発展させ、社会に貢献したいと思いました。僕の夢はそれが実現できる経済産業省の官僚になることです。経済産業省の官僚になり、社会への奉仕の心を貫き通し日本や世界の経済を発展、活性化させたいです。特に日本の技術力を活かして人工知能や完全自動運転車などの開発を進めたいです。それが成功したら、さらにみんなの生活が豊かになると思い、とても楽しみです。また、経済格差をなくし全ての人が世界中で活躍できる社会をつくりたいです。それらを通して社会に貢献し、世界中の人が豊かで戦争や紛争がない平和な世の中にしたいです。

僕は社会に奉仕することの大切さを実感するできごとがありました。それは熊本地震です。ニュースなどで多くの人が被災し、困難に直面する姿を見て、自分にできることはないだろうかと考え、僕たち岡部中学校生徒会は募金活動を行いました。自分たちで募金箱を作り、街頭に立ち、やりがいを感じながら活動しました。たくさんの人に募金をしていただき、それを熊本や大分といった被災地に送ることができ、とても心が温かくなりました。今までの僕なら「被災した人がいたとしても自分には直接関係ない。」とってしまったことでしょう。しかし、今回は澁澤栄一の考え方を学んでいたのので、社会に貢献する

大切さとやりがいを感じることができました。そのおかげで自分の社会への奉仕の心を強いものにすることができたのだと思います。

そして僕は今、自分の夢を実現させるために何事にも全力で取り組んでいます。勉強ではグローバルに世界で活躍できるように、どんな教科も集中して学習に取り組んでいます。部活では心身を鍛えるために剣道部に所属し、部長として県大会出場を目指してチームを引っ張り、毎日稽古に励んでいます。そして僕が一番力を入れているのは生徒会本部役員としての活動です。社会に貢献するためにまず自分にできることは、学校に貢献することだと僕は考えました。皆がよりよい生活を送れるように何ができるかを常に考え、活動を進めています。この1年で様々な活動に取り組んできました。その中でも特にやりがいを感じたものは「エコあい」という活動です。「エコあい」とは岡部中学校生徒会の三大プロジェクトの1つで、「だれかのために、今できることを」をキャッチフレーズに、ペットボトルキャップを集める活動です。そのキャップ回収による利益はふっかちゃん福祉基金として深谷市の様々な福祉に使われます。昨年度、岡部中学校はその回収率で深谷市1位となり、表彰されました。中学生にとって社会のためにできることは少ないですが、この時僕は一人一人の自覚で大きなことを成し遂げられるすばらしさ、社会に貢献する意義を強く感じました。これからも夢の実現に向けて、一步一步努力を続けていきたいです。